

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表：令和2年2月27日

事業所名児童デイサービスノア

スタッフ数 5 回収数 5 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			勉強スペース、遊びスペースを分け、椅子等での転倒防止、落ち着きたい子の場所を確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	2	2	1	送迎が重なり、1人に対応している時間がある。職員の人員確保に努めます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1		スロープは可動式で出し入れて、玄関スペースを広く使っている。 トイレなどもバリアフリー化されている。 子どもでも開閉しやすい手洗い場の蛇口などに変更していきたい。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			月1回のスタッフ会議で話し合いを持ち、気が付いた時に声かけを行なっている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			保護者説明会などを行なっている。 保護者用アンケートの説明会を開催した上で記入していただいた。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1		オンブズマンの月1回の訪問は受けているが、第三者機関の評価は受けていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			日程が合う研修には積極的に参加している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		アセスメントシートを作成し、情報の共有、プログラム作成や目標設定の際に生かしている。 利用の前には保護者との面談を必ず行い、計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2		統一された独自の様式のアセスメントシートを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			曜日によって担当を変え、提案し合って決めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			1週間の中に1度も同じ活動内容がなく、それを毎月ローテーションしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1		その日の調子等も考慮して無理せず進めている。 年齢に合わせた活動も取り入れている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			児童の状態に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			毎朝打ち合わせを行なっている。 サイボウズも活用している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気が付いた点等を共有しているか	5			いるスタッフで行なっている。教室日誌、業務日誌などでも共有している。 サイボウズも活用している。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			その日の様子や取り組んだことと支援目標について記入する欄を設けている。 気が付いた点などを毎日記録している。	
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			最低限6ヶ月に1回は必ず開催している。 月1回のスタッフ会議議案にも盛り込み、達成度の確認などを行っている。	

	①9	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5			ガイドラインの趣旨に則り、活動の内容に偏りがないようにしている。
関係機関や保護者との連携	②0	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			基本的には児童発達支援管理責任者が参加している。
	②1	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5			児童の保護者を通して基本的に行なっているが、連絡が取れない場合は、直接行なう事もある。送迎の際の様子を聞いてくるようにしている。
	②2	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	1		今のところ該当者はいない。現在の職員数や設備では受け入れが難しいが、受け入れる場合は整える。
	②3	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5			利用前に訪問し、本人の様子を見たり情報をいただいたりしている。
	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2		まだ卒業者がいない。移行する場合には、調整会議等に参加したり相談支援専門員などを通してたりして情報提供していく。
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5			新規受け入れ児童に関しては連携して助言を受けている。研修は機会があれば参加したい。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5			美保野小学校児童と区民運動会、餅つき会、みほの里山夏まつりなどで協力、交流している。
	②7	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	1		機会があれば参加したい。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			日々、連絡ノートを活用して行い、必要であればその日の内に電話連絡をしている。通院時に必要な医療機関への情報提供を行なっている。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	4		面談や相談を通してのアドバイスなどは行なっているが、現在ペアレントトレーニングなどは行なっていない。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時にできるだけ丁寧な説明を心がけている。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			主に放課後デイサービス計画の更新時や送迎時、連絡ノート等に記載されている際に応じている。相談を受けた際、その場で回答・解決できるものはすぐにし、後日となるものに関しても速やかに対応している。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5			保護者交流会等を開催している。年2回の交流会を開催した。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			苦情受付担当者、解決責任者を設けている。オンブズマン来訪日なども月の予定表に記載している。もし苦情などがあった場合は、速やかに対応する。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			ブログの更新、ゆーとぴあだより、ノアだよりなどを発信している。
	③5	個人情報に十分注意しているか	5			写真の利用に関してなど、十分注意している。契約時に同意書を取り交わしている。個人情報に関するものは、鍵付きの棚に保管している。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			児童の個性を尊重し、合理的配慮をしている。

	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5			新年の集い等に地域の方を招待して、開かれた運営を図っている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2		スタッフは周知しているが、保護者には周知されているのか不明。 早急に保護者に対しても周知できるよう対応する。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			月1回集団療育活動の中に組み込み、定期的に避難訓練を行なっている。 また児童に知らせずに行うなどの工夫もしている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			日々の声かけでも、少し感情的になっている時は、声を掛け合い対応を交代するなどしている。 法人学習会、スタッフ会議、伝達研修等で取り上げ、年に数回研修の機会を確保している
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	2		拘束が必要な子どもはいない。 必要があれば対応していく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	2		食物アレルギーのある子どもはいない。アセスメントシート等でアレルギーの有無を確認している。 受け入れについては慎重な話し合いや対応が必要と思われる。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			スタッフ会議の中で取り上げ、他部署でおきた事例についても共有している。 ヒヤリハット事例がおきた場合は報告書を作成し保管している。